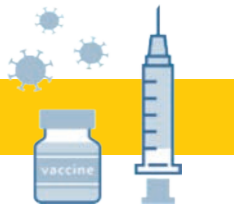
コロナワクチン3回目接種予約は接種券が届いてから!

照会先 市民健康課　新型コロナウイルスワクチン接種推進室　☎24-0111



接種券はいつ届きますか?

1月下旬から2回目接種終了順に発送します。

いつから接種できますか?

個別接種は2月1日(火)から、集団接種は2月9日(水)から開始予定です。

ワクチンは?

- 集団接種は武田／モデルナ社製ワクチンを、個別接種はファイザー社製ワクチンを使用します。
- モデルナワクチンは1・2回目の接種量の1/2に変更になりました。

1・2回目と違うワクチンでも大丈夫なの?

国において1・2回目に接種したワクチンと違うワクチンを3回目に接種する「交互接種」が安全であると承認されました。

※ワクチンの安全性や、追加接種の必要性を理解したうえで、接種を計画してください。

接種場所　集団接種　関市総合体育館(アテナ工業アリーナ)
個別接種　市内医療機関(36医療機関程度)

相談・予約　令和4年1月11日(火)開始　※予約は接種券が届いてから!
関市新型コロナコールセンター:0570-03-3375(土日・祝日も実施)
WEB予約サイト:https://leggodt.co/vaccine-seki/

WEB予約 QRコード

新型コロナワクチン集団接種会場医療従事者募集

照会先 市民健康課(☎24-0111、✉ hoken-c@city.seki.lg.jp、FAX 23-6757)

勤務期間　2月～ 5月頃
勤務日時　水、木、土曜日：正午～午後6時(最大)　日曜日：午前8時～午後0時30分、正午～午後6時(最大)
勤務地　関市総合体育館(アテナ工業アリーナ)
業務内容　ワクチンの接種・充填、接種後の経過観察　**応募資格**　看護師免許を有する人
報酬　1時間につき5,500円　**募集期間**　1月4日(火)～14日(金)
申込方法　市ホームページ(https://www.city.seki.lg.jp/0000016831.html)から申請書をダウンロードしてメールまたはファクスで市民健康課へ申込み
※勤務時間などは、今後の状況などにより変わることがあります。

市民主体のまちづくりを目指して

関市第５次総合計画「後期基本計画」策定スタート！

VOICE 関市総合計画策定中

照会先 企画広報課 ☎23-7014

まちづくりに関する「みなさんの声」を募集中!!

関市第5次総合計画は、関市のまちづくりの最上位計画で、2018（平成30）年度から2027（令和9）年度までの10年間のまちづくりを示したものです。

今年は、その後半にあたる「2023（令和5）年度から2027（令和9）年度」に実施する取組を示す「後期基本計画」を策定します。これからのまちづくりについて、あなたが思うことや考えていることを聞かせてください。

VOICEミーティング

市内の様々な団体の皆さんと市の取組に対する意見交換を実施しています。

VOICEミーティング実施団体など

- 関市地域女性の会連合会
- 各地域の代表団体(洞戸、板取、武芸川、武儀、上之保)
- 関市老人クラブ連合会
- 関市6次産業化ネットワーク協議会
- むげがわ児童館・むげがわ子育て支援センター
- 関市民生委員児童委員協議会
- 関市農業委員・関市農地利用最適化推進委員
- 関市PTA連合会
- 関商工会議所青年部
- せき森林づくり委員会

VOICEツリー

専用ボードを下記施設に設置しています。市のまちづくりに望むことや期待することをお寄せください。
(1月末日まで)

設置場所:市役所、わかくさ・プラザ学習情報館、洞戸事務所、板取事務所、武芸川生涯学習センター、武儀生涯学習センター、上之保生涯学習センター

VOICEポータル

市ホームページで、まちづくりに関するアンケートを実施しています。

受付期間:1月20日(木)まで

詳細はこちら▲

1月15日
OPEN!!
開所式
午前9時

「歴史ある古民家」が改修され まちなかのにぎわい拠点が誕生しました

空き家となっていた歴史ある古民家を活用して、まちなかににぎわいを創るとともに、市民の交流の場となる、地域コミュニティの拠点として整備しました。

だれでも気軽に利用できるフリースペースとして、多世代が多目的に活用できる施設です。

建物の歴史

この建物は明治20年に建築された木造瓦葺2階建てで、伝統構法により建築された母屋のほか、中庭や茶室などを備えた町屋づくりの建物です。明治41年、地域の刃物業者らにより現・関信用金庫の前身となる「有限責任関信用購買組合」が設立され、初代組合長であった纐纈元三郎氏が自宅であるこの建物の一角を事務所として提供していました。

令和2年2月、所有者から「まちのにぎわい創出のために活用してほしい」と市に寄附の申出があり、建物の耐震改修工事を行い、新たなコミュニティースペースとして整備しました。

古民家の愛称が決まりました!

これまで「古民家山麓（さんろく）」の名で親しまれてきた建物ですが、施設の新しい愛称を公募したところ、日本全国から113件のご応募をいただきました。若者に親しまれる愛称を付けたいと考え、VSプロジェクトメンバーの高校生らに審査をお願いし、素敵な愛称が決定しました。

決定した愛称は、1月15日（土）の開所式で発表しますので、お楽しみに!

VSプロジェクトのメンバー

審査の様子

板間

給湯室

和室

当時の姿を残す階段

古民家ならではの趣を感じながら自由な時間を過ごせる空間

茶の間

茶室

灯りのオブジェ

土間

中庭

施設概要・利用方法

所在地 本町7丁目13番地
開館時間 午前9時～午後9時
休館日 毎週月曜日、休日の翌日、年末年始
利用方法
▼個人の利用は無料です。
▼自習、おしゃべり、ランチ、会議、セミナー、サークル・部活動、コワーキングなどに利用できます。
▼飲食できます。（火気使用は禁止）
▼イベントなどで部屋を貸し切って使用する場合は申請が必要です。（有料）
※申請は、係員または都市計画課へお問い合わせください。

※駐車場はありません。（身障者用、荷物搬入用の駐車場は施設の裏（北側）にあります。）
自転車は、施設の裏（北側）に駐輪してください。

照会先 都市計画課 ☎23-6734

50年を迎える親子教室のあゆみ

昭和42年に、子どもの訓練の場を求める保護者が集まり、旧武儀高等女学校跡で、自主運営によるあゆみの家が発足しました。
昭和47年4月、県下で初めて公立の発達支援の場として関市養護訓練センターが開設しました。
現在は、市内に児童発達支援センターとして中央親子教室、西親子教室、東親子教室の3施設があります。子どもの発達に関する相談もセンター内の相談支援事業所で随時受け、必要に応じて療育につながります。

昭和47年
関市養護訓練センター
開所式の様子

昭和55年頃
療育の様子

開設当時の療育は、就学猶予や免除、受入れ体制の理由などから、2歳から10歳までの子どもの集団生活の場所としての役割を担っていました。
昭和54年から養護学校の義務教育化や統合保育が進んだことで、療育の役割は、おとなとの愛着関係を築くことと考えて取り組んでいます。

開設50周年
関市中央親子教室
（旧関市養護訓練センター）
住所：本郷町88番地

開設30周年
関市西親子教室
（旧関市武芸川ことばの教室）
住所：武芸川町八幡1446番地1
（武芸川事務所東側）

開設25周年
関市東親子教室
（旧中之保親子教室）
住所：中之保5443番地
（武儀福祉センター内2階）

関市の親子教室の療育

0～6歳（就学前）のお子さんが通っています。

療育の三本柱

発達支援
お子さんが好きな活動を見つけて、持てる力を発揮できるように、あそびを通して支援します。

家族支援
保護者同士の交流や学習会、家族で参加できる行事などの機会を作ります。

地域支援
親子が地域で安心・安定して生活できるように、関係機関とつながりながら支援します

詳しくはHPをご覧ください。

療育に保護者も加わって
お子さんと一緒にあそびます

関市児童発達支援センター　50周年記念事業

照会先 関市中央親子教室　☎22-2304

関市中央親子教室（旧関市養護訓練センター）の開設から50年を迎え、関市児童発達支援センター（中央親子教室、西親子教室、東親子教室）の記念事業を行います。

日時　2月4日（金）午前10時から正午
場所　学習情報館　多目的ホール

内容
- **記念式典**　10時～10時15分
- **50年のあゆみ**　10時15分～10時30分
- **シンポジウム**　10時30分～正午

テーマ　親子療育を振り返り、幼児期に大切にしたいこと
～保護者の思いから学ぶ～

コーディネーター：松波 和子さん（元関市養護訓練センター所長）
シンポジスト：親子教室終了生の保護者4人・終了生１人
足立さん：西親子教室終了生（高等特別支援学校在籍）の保護者
迫　さん：東親子教室終了生（視覚の障がい・小学部在籍）の保護者
山口さん：中央親子教室終了生（中学校特別支援学級在籍）の保護者
井本さん：中央親子教室終了生（重症心身障がい、医療的ケア児・中学部在籍）の保護者
井本さん：中央親子教室終了生（重症心身障がい、医療的ケア児・中学部在籍）

※記念事業当日は、親子教室保護者、関係者、関係機関のみの参加となりますが、記念式典、50年のあゆみ、シンポジウムはYouTubeで動画配信します。
※YouTubeでの配信は、3月4日から3月25日までを予定しています。視聴を希望する人は、1月11日から2月14日までの期間に、関市児童発達支援センターホームページから申し込みください。
※YouTube配信の映像には、手話通訳があります。

関市スポーツ講演会

入場無料

照会先 （一財）関市スポーツ協会　☎23-8525

元中日ドラゴンズ　和田 一浩　講演会　不撓不屈　～野球が教えてくれた３つのこと～

日　時　1月29日（土）
開場　正午　　開演　午後1時
場　所　学習情報館　多目的ホール
定　員　150人（整理券順）
申込方法　1月15日（土）午前9時から、アテナ工業アリーナ窓口で整理券を配布します。（一人4枚まで）
主　催　関市、（一財）関市スポーツ協会

和田一浩さんについて
1972年6月19日生まれ / 岐阜市出身
1997 年にプロ入り。2015 年に史上最年長で 2000 本安打を達成し、名球会入りを果たしました。現在は野球解説者、少年野球の指導、イベント出演、講演などで活躍中。

パブリックコメント募集

照会先 企画広報課 ☎23-9261

市の基本的な制度となる条例を定めたり、重要な政策を定める計画を立てる場合は、あらかじめ市民の皆さんに、その案や考え方、ねらい、主な内容などを公表します。

広く市民の皆さんから意見をいただき、その意見に対する市の考え方を公表するとともに、市民の意見を条例や計画などに反映させることで、よりよい行政を目指します。

どうぞお気軽に意見をお寄せください。

第２期関市教育振興計画（案）

教育基本法に基づき策定するもので、教育の理念や方向性を明らかにし、その実現に向けた教育施策を推進するための今後10年間の取組を示す計画です。

募集期間　1月4日(火)～2月3日(木)

照会・提出先　教育総務課
(☎23-7718　FAX23-7747
✉somu-edu@city.seki.lg.jp)

第2期関市スポーツ推進計画（案）

「いつでも、どこでも身近で気軽にスポーツを楽しめるまちせきし」を基本理念とした、スポーツの推進に関する取組を示す計画です。

募集期間　12月28日(火)～1月27日(木)

照会・提出先　スポーツ推進課
(☎23-7766　FAX23-7765
✉sports@city.seki.lg.jp)

関市地域公共交通計画（案）

地域公共交通の活性化及び再生に関する法律に基づき「地域にとって望ましい地域旅客運送サービスの姿」を明らかにし、公共交通の将来像および目標を定めた計画です。

募集期間　1月4日(火)～2月3日(木)

照会・提出先　都市計画課
(☎23-7981　FAX23-7746
✉kotsu@city.seki.lg.jp)

パブリックコメントの流れ

計画などの案を策定
↓
市ホームページ、市広報紙などで手続実施を予告
↓
計画などの案を公表
↓
30日以上の期間を設定して、意見などを募集
↓
意見などに対する市の考え方を公表
↓
意見などを考慮して最終案を決定
↓
議決を要する案件は、議会へ提出

公表場所

市ホームページ、各担当課、企画広報課、各地域事務所、西部支所など

意見を提出できる人

市内に在住、在勤、在学の人または市内に事務所、事業所をお持ちの人や団体

意見の提出方法

住所、氏名、意見を記入し、次のいずれかの方法で提出してください。①持参　②郵送　③ファクス　④電子メール

※所定の様式は公表場所または市ホームページから入手できます。同様の内容が記載してあれば任意の様式でも可能です。口頭や電話での意見はご遠慮ください。

※提出された意見とそれに対する市の考え方を、意見募集期間終了後に公表します。(意見提出者の住所・氏名は公表しません。)

関市消防出初式

照会先 危機管理課　☎23-7736

　津保川河川敷で式典と消防車による一斉放水を行います。
　関係者以外は河川敷へ立ち入りできません。観覧する人は、中濃運転者講習センターの駐車場をご利用ください。

日時　1月10日(月・祝)
　式典　午前10時～
　放水　午前10時30分頃～
場所　稲口橋下流津保川河畔
※荒天中止

関市消防団員募集
～あなたこそ　かぞくとまちの　ヒーローだ～

照会先 危機管理課　☎23-7736

　消防団は、「自分たちのまちは自分たちで守る」という使命感のもと、職業や学業を持ちながら、地域の防災リーダーとして幅広い活動を行っている地域に密着した団体です。消防団は消防署と協力して火災、災害および人命の救助救出に出動するだけでなく、平時は火災予防などの啓発活動を行います。
　女性や大学生の消防団員も活躍しています。入団を希望する人、興味のある人は、お問い合わせください。

入団資格
・市内在住、在勤または在学する人
・18歳以上の心身ともに健康な人

女性防火クラブ会員募集

照会先 危機管理課　☎23-7736

　家庭での火災予防の知識の習得、地域全体の防火意識の高揚によって、災害のない明るい安全な地域と家庭を築くことを目的として活動しています。
　災害時に役立つ空き缶コンロの普及や非常食実習、災害用トイレの学習などに力を入れ、知識・技術の向上を図っています。入会を希望する人、興味のある人はお問い合わせください。

入会資格
・市内に在住または勤務する女性
・女性防火クラブの趣旨に賛同する人
・心身ともに健康な人
活動内容
・家庭および地域での防火・防災に関する研修
・火災予防啓発、初期消火訓練、救急法講習
・消防団行事への参加、PR活動